

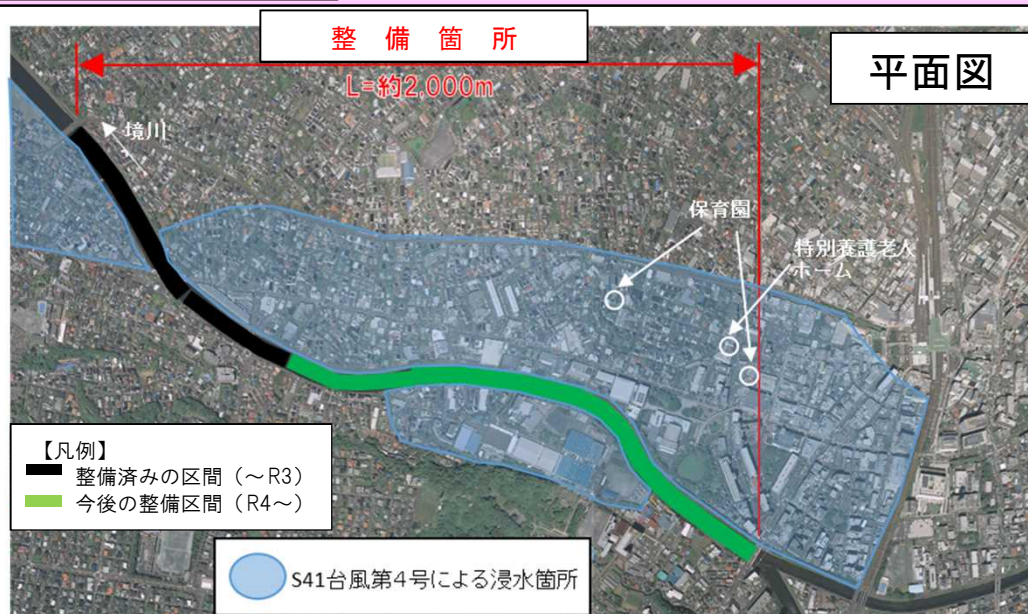
流域治水プロジェクトの取組事例集 (境川水系)

(境川流域総合治水対策協議会)

- 境川水系においては、「境川水系河川整備計画（平成27年4月）」に基づき、時間雨量約60mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備等（河道掘削、護岸整備、橋梁架替、洪水調節施設等）を進めている。

■河道整備の一例

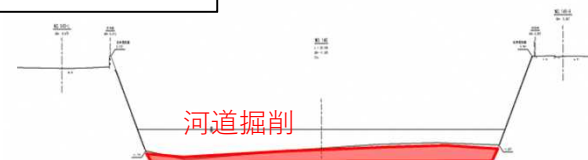
実施状況



施工状況



整備イメージ



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	神奈川県	[Progress bar from Short-term to Mid-term]		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、東京都、横浜市

- 境川水系準用河川舞岡川においては、時間雨量約50mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、準用河川改修事業等により河道整備を進めている。

実施状況

平面図



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	横浜市	—————▶		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市、神奈川県

横浜市

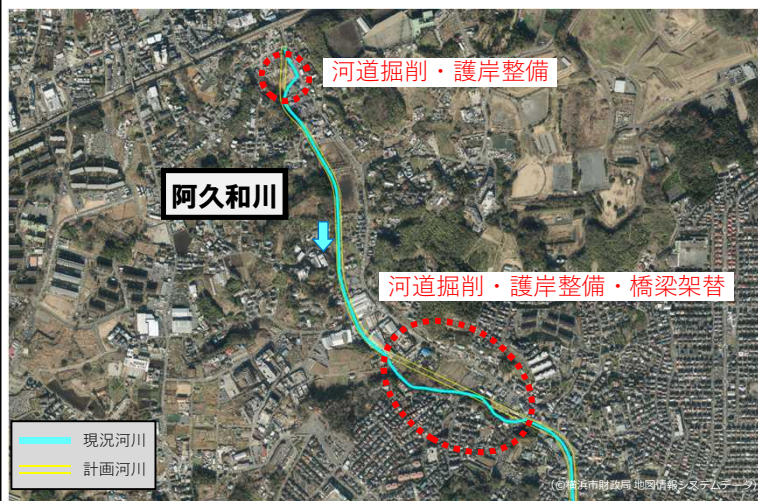
洪水氾濫対策 【河川改修事業による河道整備】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

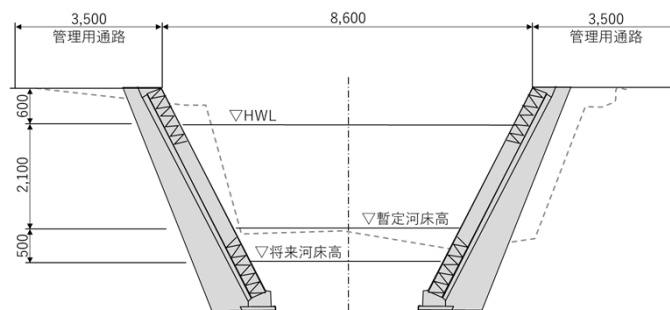
- 境川水系阿久和川においては、上流区間において時間雨量約50mm規模の降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備（河道掘削、護岸整備、橋梁架替）を進めている。

実施状況

平面図



標準断面図



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	横浜市	→		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
横浜市、神奈川県

- 境川水系においては、「境川水系河川整備計画（平成27年4月）」に基づき、時間雨量約60mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備等（河道掘削、護岸整備、橋梁架替、洪水調節施設等）を進めている。

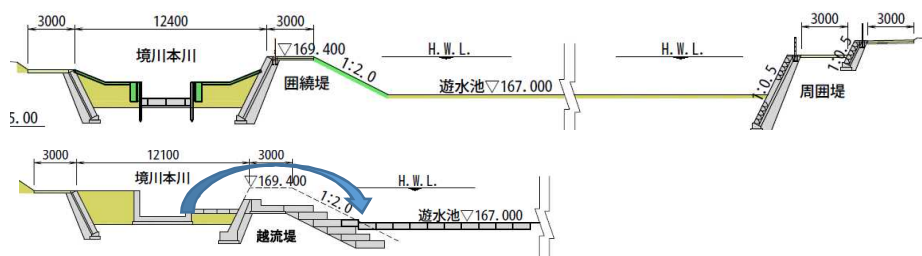
実施状況

風間遊水地

【施設概要】

- 面積 : 約1ha
- 貯水容量 : 約2万m³

断面図



整備前



整備後



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
洪水調節施設整備	神奈川県	▶		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、横浜市

- 境川水系においては、「境川水系河川整備計画（平成27年4月）」に基づき、東京都管理区間は年超過確率1/20（時間雨量約65mm）の規模の洪水を安全に流下させるため、河道整備等（河道掘削、護岸整備、橋梁架替、洪水調節施設等）を進めている。

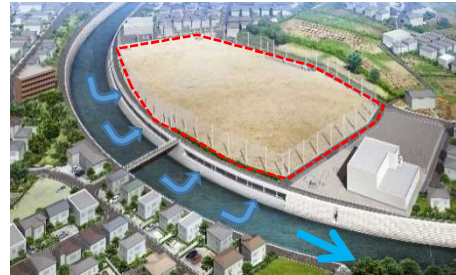
実施状況

境川金森調節池

【施設概要】

貯留量：約15.1万m³
（25mプール約500杯分）
形 式：地下箱式

工事状況（R5.2末）



完成イメージ



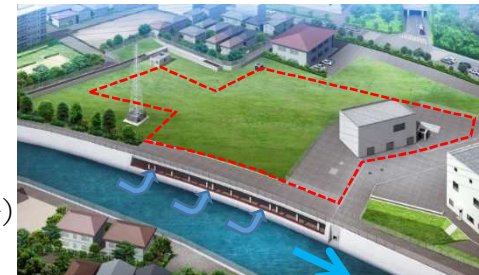
完成イメージ（断面）

境川木曾東調節池

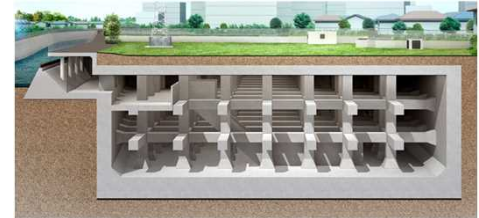
【施設概要】

貯留量：約4.9万m³
（25mプール約164杯分）
形 式：地下箱式

工事状況（R5.2末）



完成イメージ



完成イメージ（断面）

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
洪水調節施設整備	東京都			

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
東京都

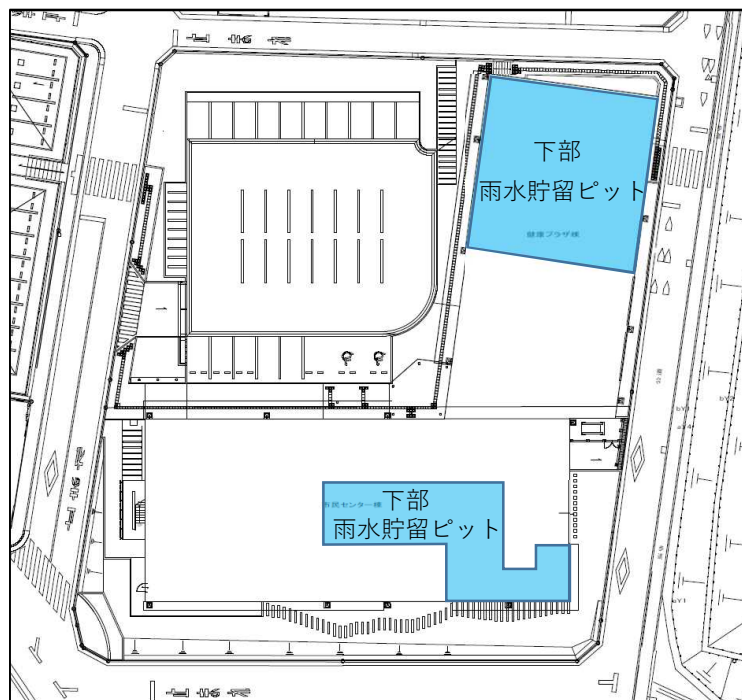
流域の雨水貯留機能の向上 【雨水貯留施設の整備】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

- 一定規模以上の開発行為等に関して雨水貯留施設の整備を義務付けている。
宅内の雨水排水について雨水貯留施設を介して排出することにより、雨水管への放流量の抑制および平準化を行い、降雨時の市街地における雨水管への負荷を低減するもの。

実施状況

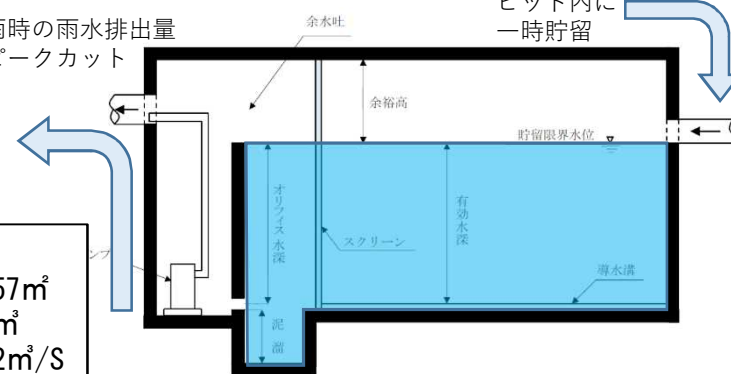
配置図



整備イメージ

ピット内雨水を少しずつ
雨水管へ放流
↓
降雨時の雨水排出量
のピークカット

宅内雨水を
ピット内に
一時貯留



【施設概要】

- 敷地面積 : 3645.57㎡
- 貯留量 : 325.5㎡
- 放流量 : 0.0072㎡/S

対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
雨水排水施設の整備	藤沢市	▶		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
藤沢市、横浜市、町田市

流域の雨水貯留機能の向上 【森林の整備】

氾濫をできるだけ
防ぐ・減らす
ための対策

- 東京都環境局の森林再生事業にて、約21haの民有林を2009年度～2011年度に1回目の間伐作業、2012年度～2014年度に枝打ち作業を行った。2021年度～2023年度の3カ年で2回目の間伐作業を実施中である。この事業により、山地災害の防止や水源涵養機能等の向上が見込まれる。

実施状況

町田市相原町字大地沢作業区域



整備前



整備後



対策内容	実施主体	工 程		
		短期	中期	中長期
森林の整備	町田市・受託者 (東京都・委託者)	25年の協定期間中に間伐を2回、枝打ちを1回実施		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
町田市

- 相模原市では、全国的に、人口減少や超高齢化を見据えたまちづくりが必要とされる中、さまざまな課題に対応するため、新たなまちづくりの指針となる「相模原市立地適正化計画」を令和2年3月策定した。
- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」を居住誘導区域から除外。

取組内容

■立地適正化計画のイメージ



居住誘導区域

居住を誘導し、人口密度を維持するエリアを設定



都市機能誘導区域

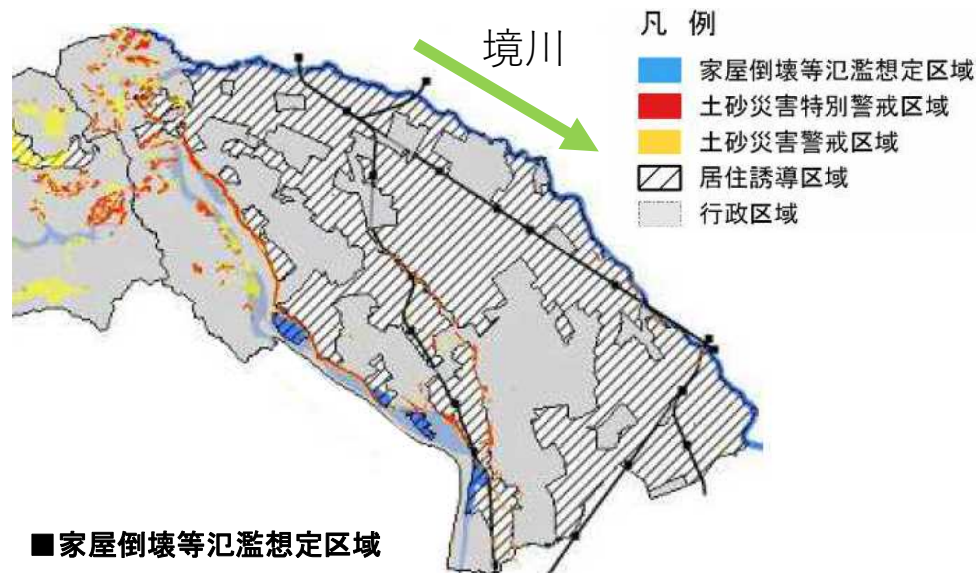
生活サービスを誘導するエリアと、そのエリアに誘導する施設（誘導施設）を設定（医療、高齢者福祉、子育て支援、商業等）



公共交通

都市機能誘導区域にアクセスしやすくする公共交通施設の整備を計画

※地域公共交通網形成計画*で位置付け



■家屋倒壊等氾濫想定区域

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
立地適正化計画の推進	相模原市	→		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
相模原市、鎌倉市、藤沢市

避難体制等の強化 【洪水浸水想定区域の看板設置】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- 神奈川県では、住民の自主的な避難を促すソフト対策の一環として、洪水浸水想定区域を周知するため、浸水が想定される県管理河川に、看板の設置を進めている。

取組内容

■設置状況



境川 鶴沼東

■洪水浸水想定区域の看板事例

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県			

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

避難体制等の強化 【危機管理型水位計の設置】

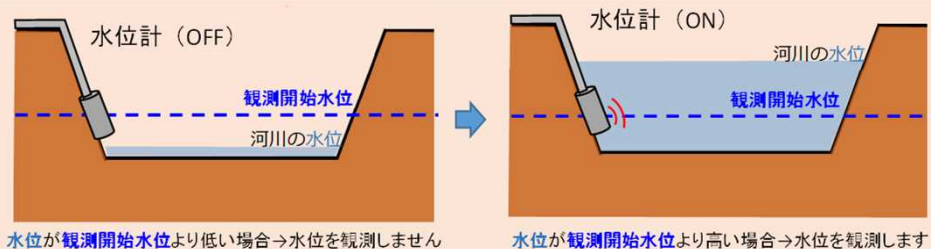
被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- 住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、これまで水位計の無かった箇所でも水位把握できるよう、洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置することで、出水時の水位観測により避難体制の強化を図る。

取組内容

■危機管理型水位計とは

- ・ 洪水が発生した際に、河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置する水位計。
- ・ 河川が未整備のため注意を要する箇所や、学校や病院など、重要な施設が周辺にある箇所に設置。



■県ホームページから水位状況を確認することが可能



■危機管理型水位計の設置事例



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県	▶		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県

避難体制等の強化 【水位計・河川監視カメラの増設及び管理】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

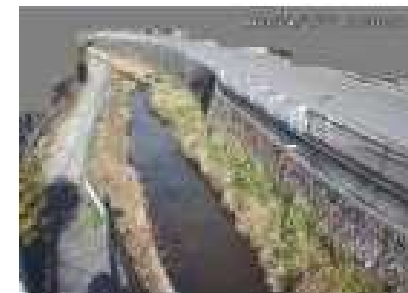
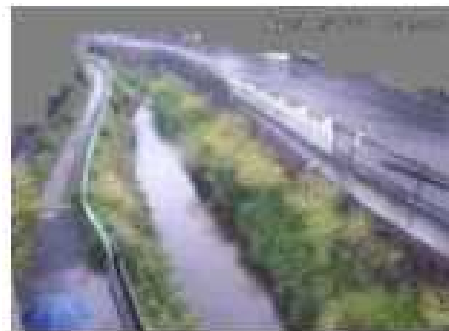
- 鎌倉市では、住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、河川監視カメラ及び水位計を市内の河川5箇所を設置し、出水時の水位観測により河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置している。

取組内容

準用河川小袋谷川、準用河川砂押川、準用河川神戸川、準用河川新川、普通河川滑川に河川監視カメラ及び水位計を設置しています。



河川監視カメラ画像
(準用河川砂押川)



平常時の様子

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
水位計・河川監視カメラの増設及び管理	鎌倉県	▶		

境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
鎌倉市、東京都、横浜市

- 東京都職員及び水防管理団体職員等による排水ポンプ車の操作習熟、連携強化

取組内容

【配備台数】

- 10建設事務所で1台ずつ保有し、計10台配備

【特徴】

- 毎分5m³の排水が可能な水中ポンプを2台積載
- 水中ポンプは、軽量で簡単に持ち運び可能



【操作訓練】

(水防管理団体職員及び消防職員が参加)



境川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
東京都